

政権交代後、初めての本格的な国会論戦が始まったものの、なかなか反転攻勢の糸口がつかめない自民党。そうした中、党再生に向け、人一倍大きな声を上げる村上誠一郎衆院議員(愛媛2区)が存在感を示している。

永田町 えびひめ

谷垣禎一総裁が直属機関として新設した政権構想会議の委員にこのほど就任。同会議は党の基本理念や政策、選挙対策などを幅広く協議しており、「政権奪還に向けた参謀本部」(村上氏)という位置付け。「厳

党再生へ村上氏存在感

しい戦いだ、やりがいはある。党内のいろいろな声を吸い上げていく」と意欲を語る。

返す刀で、日本郵政の社長人事や米軍普天間飛行場の移設問題、来年度予算編成などで鳩山政権をばっさり。「危機的な状況にある愛媛や日本を救うには、政権を奪取するしかない」と訴える。

とはいえ民主との勢力差は歴然で、自民国會議員のいない空白県もあるのが現実。「自分の地元だけにいて、政権交代はできない。当選回数が多い議員ほど全国を歩き回らなければいけない」という主張は党内でどう響くのだろうか。(k)